

お客様各位

株式会社 セゾン情報システムズ
HULFT テクニカルサポートセンター

HULFT8 Script Option の ScriptRunner に含まれる 脆弱性に関するお知らせ

平素より、テクニカルサポートサービスをご利用いただき、誠にありがとうございます。
HULFT8 Script Option の ScriptRunner について、秘密鍵がハードコードされた問題（CWE-321）があることが判明しました。

本脆弱性は、HULFT8 Script Option の修正パッチで対応を行っております。ScriptRunner をご利用の場合、下記内容をご確認いただき対応の検討を行ってください。

－記－

1. 影響を受ける製品及びバージョン

- HULFT8 Script Option for Windows/UNIX/Linux

全バージョンが対象です。

2. 影響範囲

- ScriptRunner

ScriptRunner を使用していない（起動設定ファイルを作成していない）場合は、影響はありません。

3. 脆弱性による影響

当該製品にアクセス可能な攻撃者が ScriptRunner の起動設定ファイルを入手した場合に、ハードコードされた暗号鍵を使用して、暗号化されている認証情報を復号される可能性があります。

4. お客様へのお願い事項

本脆弱性の修正パッチは、HULFT8 Script Option Ver.8.5.3 に適用が可能です。このため Ver.8.5.2 以下をご使用の場合、Ver.8.5.3 へのアップデートを行ってください。その後、下記の修正パッチを適用してください。

HULFT8 Script Option バージョン	対応する修正パッチモジュール	備考
8.5.3	HS85_230508_02	

上記の修正パッチは myHULFT にて公開しております。

「製品ダウンロード/キー発行」より当該製品を選択するとダウンロードが可能です。対応するパッチモジュールを適用して、起動設定ファイルに対して必要な手順を実施してください。手順の詳細はパッチモジュール内の README をご参照ください。

【注意事項】

HULFT 本体と HULFT8 Script Option は、同一レベル※で使用する必要があります。このため、今回の対応に合わせて HULFT8 Script Option を Ver.8.5.3 にレベルアップする場合、HULFT 本体も Ver.8.5.X にレベルアップを実施する必要があります。
※Ver.X.Y.Z の場合「Y」の部分がレベルとなります。

5. お問い合わせ先

技術サポートサービス契約先にお問い合わせください。

以上

【改訂履歴】

2023年05月19日	初版作成
-------------	------

別紙： よくあるご質問と回答

Q1	ScriptRunner の使用有無の確認方法を教えてください。
----	----------------------------------

A：

ScriptRunner は、コマンドライン引数に起動設定ファイルを指定して ScriptRunner.exe を実行することでスクリプトを実行する機能です。詳細は HULFT8 Script Option オンラインヘルプ内の以下を参照ください。

<オンラインヘルプ>

[運用ツール]-[ScriptRunner]

このため ScriptRunner の使用有無については以下をご確認ください。

- ・ ScriptRunner.exe がインストールされている環境があるか。
- ・ 上記環境でお客様が作成した起動設定ファイルを指定して ScriptRunner.exe でスクリプトを実行する運用を行っているか。

Q2	ScriptRunner を使用してはませんが、HULFT8 Script Option の動作環境に、ScriptRunner.exe が存在しています。このファイルが HULFT8 Script Option の動作環境に存在する場合に、本脆弱性問題は発生しますか。
----	---

A：

本脆弱性は、ScriptRunner でスクリプトを実行する際に使用する起動設定ファイルのパスワード暗号化に関する脆弱性です。

このため、ScriptRunner.exe のファイル自体が存在していても、起動設定ファイルを作成していない場合、影響はございません。

Q3	今回の脆弱性について実際に被害の起きた事例はありましたか。
----	-------------------------------

A：

本脆弱性が原因となる被害について、現時点ではご報告はいただいております。

Q4	パッチを適応後、想定通り改善された動作となっているか確認する方法はありますか。
----	---

A :

パッチ適用前から変更していない起動設定ファイルを使用して、ScriptRunner.exe を実行してください。エラーが発生した場合、パッチが適用されています。

今回の脆弱性の対応として、認証情報を復号化するための暗号鍵を実行環境に保存するように変更しています。このため、パッチ適用前の起動設定ファイルに記載しているパスワードは、パッチ適用後には復号化できないため、エラーが発生します。

Q5	HULFT8 Script Option の導入されているマシンが、ScriptRunner を用いた通信を行っていない場合は、脆弱性の影響を受けないと理解してよいでしょうか。
----	--

A :

本脆弱性は、HULFT8 Script Option の導入環境にアクセス可能な攻撃者が ScriptRunner の起動設定ファイルを入手した場合に、認証情報を確認できてしまう問題です。

ScriptRunner と HULFT8 Script Option 間で通信を行っていない場合でも、作成済みの起動設定ファイルが存在する場合は、そのファイルを入手された際に影響がございます。

以上